

第20回 11月24日(木)13:00～14:30

## だれかの記憶に生きていく ～納棺師からみた生と死～



**木村光希氏**

おくりびとアカデミー代表、納棺師

**会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室**

### <講師プロフィール>

1988年生まれ、北海道出身。札幌大学在学中より、父が代表を務める納棺師の会社に入社。2013年6月、株式会社おくりびとアカデミーを設立し代表取締役に就任。同年10月、納棺師の資格付けを行うための専門機関として、一般社団法人日本納棺士技能協会を設立、代表理事となる。同年12月、株式会社経済界主催「金の卵発掘プロジェクト2013」にて審査委員特別賞を受賞。2015年12月、葬祭ブランド「おくりびとのお葬式」を立ち上げ、創業者となる。現在、全国8店舗展開中。著書『だれかの記憶に生きていく』（朝日出版）の他、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」などテレビや雑誌、新聞で多数活躍中。

### <担当スタッフより>

みなさんは、「死」に対してどのようなイメージを抱いていますか？多くの人は、ぼんやりと恐怖を感じているかもしれません。私もそうでした。しかし、「死」とは必ずしも怖いだけのものではなく、自分の「生」の枠を描いてくれるものであるかもしれないのです。今回の講師である木村さんは、ご遺体を清め、棺に納める「納棺師」という職業の第一人者です。「死」に関わる儀式をお仕事としている木村さんは、「死」をどう捉え、仕事として取り組んでいるのでしょうか。自立を意識するようになるこの時期にこそ、木村さんのお話を通して、一度「死」について向き合ってみませんか？